

トラックの日(10月6日)行動

全国各地の高速道路PAなどで実施。独自アンケートを集約

全国トラック部会は、「トラックの日」行動として、6日を中心に宣伝行動等を取りくみました。

今年の行動はコロナ前の体制でおこない、健康チェックも4カ所で実施されました。春闘アンケートや国交省アンケートを中心に、国交省アンケートは直接対話分として約150人分を集約しました。また、愛知・大阪・東京埼玉・兵庫では医療生協等の看護師のご協力により計50人の健康チェックをおこなうことができました。

今回の「トラックの日」行動は、全国10ヶ所で開催し、のべ91人が参加しました。悪天候により北海道・釧路地域支部の行動は11日の実施予定となっています。

静岡は掛川道の駅での宣伝と流し宣伝を実施

静岡では6日に静岡市内の宣伝カー運行と「掛川道の駅」にてティッシュビラを50部配布し、配備補充を150部おこないました。



愛知は健康チェックや宣伝行動を実施

愛知トラック部会は6日に岡崎「藤川宿」にて健康チェック行動として受診者5名と国交省アンケート4枚を看護師2名含む参加者7名で実施しました。また、その後には伊勢湾岸道刈谷PA-H 刈谷HW オアシスにて宣伝行動を3名の参加者で実施し、ティッシュ&チラシ約350枚とマスク約50枚を配布しました。



兵庫は淡河 PA 下り線で健康チェックを実施



兵庫県トラック部会は、10日に山陽自動車道・淡河PA下り線で昨年に引き続き健康チェックに取り組みました。健康チェック受診者13名、トラック労働者の春闘アンケート8筆、国交省アンケート13枚、宣伝ビラ120枚配布。参加は、医労連看護師2名と兵庫トラック部会10名の計12名でした。

大阪は健康チェックとアンケート集約

大阪トラック部会は6日、寝屋川トラックステーションにおいて看護師2名を含む16名で健康チェックとアンケート集約、ビラ配布を実施しました。

健康チェック受診者は12名で春闘アンケート30枚、国交省アンケート12枚、ビラ120部を配布しました。



神奈川は東神TSで実施



神奈川トラック部会では、東神トラックステーションにおいて、神奈川ダンプ支部からの応援を含めて4名の参加で対話活動を中心に実施しました。行動では国交省アンケートを聞き取り方式でおこない、ほぼすべてのドライバーが嫌がらずに二重課税の解消署名と併せて協力をしてくれました(1人拒否)。その結果、準備したアンケート用紙30人分は2時間30分の行動で使い切り併せて署名も30筆を集約できました。

新潟はアンケート活動とグッズ配布



新潟では6日、トラックの日行動を豊栄道の駅で行いました。参加人数4名、働き方改革に関するアンケート7通集約、8通手渡しでQRコードの回答を依頼、配布物(ビラ、マスク、ティッシュ)20個。特徴的な対話では、2024年問題について「運賃が安すぎる。」「会社は、このまま何も変わらずに仕事を続けるつもり。ドライバーもそう考えている。」。国交省アンケートでは、「東名、新東名、名神は、パーキング不足(大都市圏)。」「予約制のパーキングは、利用時間がよめないで利用しない」が多数の意見となっていました。

京都は桂川PA・彦根TSなどで宣伝

京都トラック部会は10人の参加で宣伝行動を実施しました。桂川パーキングエリアを皮切りに、彦根トラックステーションや新名神宝塚北SAなどで宣伝行動を実施し、ビラ150部の配布とビラ・マスクの設置などをおこない、春闘アンケートを中心に15人集約・国交省アンケートは100人近いドライバーにQRコードでの回答を依頼しました。



東京・埼玉は大宮TSで実施

6日、大宮トラックステーションにおいてトラックの日行動がとりくまれ、東京トラック部会及び埼玉トラック部会合同で看護師5名を含めて27人が参加しました。今回は国土交通省の依頼によるトラックドライバーへのアンケートを中心におこない、マスク・ティッシュビラ・ボールペン等の宣伝グッズを配布しました。また、医療機関の協力による健康チェックは15人が利用しました。

ドライバーとの対話では、宿泊場所やPA・SA等の設備について「運賃が安い仕事では宿泊代を出してもらいにくい。車内ベッドでは体が痛くなるし休めない」、「宿泊代が高いからシャワーだけ浴びて、車内ベッドで寝ている」、「国は、補助金などを出してトラックステーションを増やしてほしい。減らさないで欲しい」、「シャワーが少なくて人が並んでいる。増やしてほしい」、「時間が読めないから駐車マスの予約が出来ても時間につけるから分からない」といった話がありました。2024年問題については、「走れなくなって給料が減ってしまうらしいけど、自分の年齢だと他に行く場所もないから続けるしかないね」、「会社は2024年にどうなるか全く話してくれない」、「労働時間はかなり減りそうだ」、「高価な機械製品を全国に運んでいるが、積み替えの時に壊したり出来ないから、遠方でも積み替えしないで運んでいる。来年からどうなるのか分からない」といったお話がありました。国交省アンケートは32枚を集約しました。



10月9日は「トラックの日」なくせ交通事故災害・過労運転！安全運転のために健康チェックを!!
—建交労東京・埼玉トラック部会—

福岡は油槽所や基山PAで宣伝



福岡トラック部会は、全国トラック部会・トラックの日行動に呼応し、早朝 6 時から油槽所で宣伝行動を行い増した。参加者は福岡協議会 6 名が参加し、配布物は建交労ティッシュ、裁判勝利独自ビラ、トラックビラ、マスクの 4 点を 50 枚配布しました。

その後は、鳥栖の物流団地のトラック待機所で、トラックビラ、ティッシュ、マスク 70 枚と、国交省のアンケート（ボールペン付き）を渡し、

32 名集約しました。また、時間がないと言ったドライバーに QR コードを説明しアンケートの協力（5 名）を呼びかけました。鳥栖での参加者は、福岡協議会 5 名と福岡運輸（戸村さん）の 6 名で行動しました。

